おまかせクラウドアップセキュリティ

Box
アクティベーション手順

ＮＴＴ東日本株式会社

変更履歴

年月	版	変更内容等
2021年08月25日	第1.0版	初版制定
2021年09月10日	第1.1版	情報ラベル、商標についての資料の追加
2022年04月05日	第1.2版	API連携時にエラーになった場合に再度実行を行う旨を記載
2022年06月21日	第1.3版	表紙記載の組織名を変更
2022年08月03日	第1.4版	各種手順に文言追記
2022年12月12日	第1.5版	事前準備完了の文言ページに他手順への誘導文面記載
2023年02月09日	第1.6版	UI変更に伴い画像差し替え
2024年04月19日	第2.0版	新規管理コンソール画面仕様に差し替え
2025年06月17日	第2.1版	2025年7月1日会社名変更に伴う更新　東日本電信電話株式会社→ＮＴＴ東日本株式会社

事前準備

おまかせクラウドアップセキュリティの管理コンソール画面にログインするための準備を行います。

事前に管理コンソール画面にログインする際のパスワードを設定します。

事前準備（１）

1.事前準備

・開通メール「**件名：新規アカウント発行のお知らせ**」
・各クラウドアプリケーションの管理者のメールアドレス及び管理者パスワード

２.パスワード設定

2021/01/27 (水) 20:09
PLX_account_support_MailBox@trendmicro.co.jp
新規アカウント発行のお知らせ
宛先 [redacted]

[redacted]
＊ ＊様

Liecensing Management Platform ログイン用のユーザアカウントを発行致しました。次の URL からログインできます。
https://clp.trendmicro.com/Dashboard?T=kjfSy

アカウントの詳細:
会社名:[redacted]
アカウント名:[redacted]

ログイン用のパスワードを設定する必要があります。次の URL からパスワードを設定してください。なお、この URL は 7 日間のみ有効です。
① https://forgetpwd.trendmicro.com/ForgetPassword/ResetPassword?T=kjfSy&v=8abc15e1-d6e9-4250-8d9d-3c985a6588f7

ご不明な点がございましたら、次の連絡先にお問い合わせください。

トレンドマイクロ株式会社
http://esupport.trendmicro.co.jp/corporate/default.aspx?gnv=sb_support&Homeclick=gnv_sb_support&cm_re=Corp-_-gnv-_-sb_support
03-5334-3601

①URLを押下します。
※**有効期限は7日間**です。

②任意のパスワードを設定します。

アクティベーション方法

事前準備が完了しました。

次に、おまかせクラウドアップセキュリティとお客様でお申し込みいただいたクラウドアプリケーションの紐づけ作業を行います。

※本項目の設定のみではおまかせCASの機能は動作しません。

必ず以下の別紙の設定も実施いただくようお願いいたします。

・【ポリシー設定】高度な脅威対策設定手順

・【ポリシー設定】情報漏えい対策設定手順

アクティベーション方法（１）

1. コンソール画面ログイン

提供されたアカウントとパスワードを入力して「**ログイン**」を押下します。
※アカウントは開通メールに記載されております。
※パスワードはP4にて設定したものになります。

①左図画面が表示された場合のみ、
「**2要素認証設定を行う**」を押下します。
※設定方法は「二要素認証設定マニュアル」をご参照ください。

②「**OK**」を押下します。

アクティベーション方法（２）

③「**コンソールを開く**」を押下します。

④「**同意する**」を押下します。

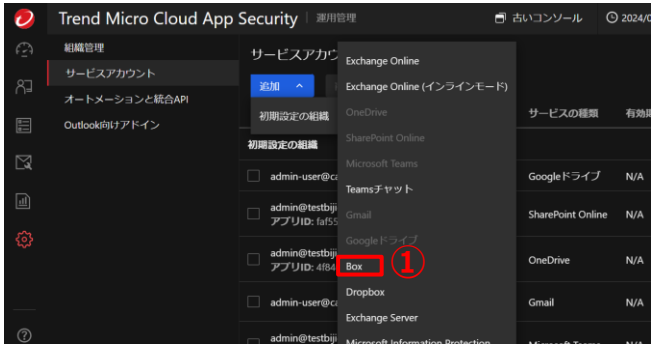
⑤「**閉じる**」を押下します。

アクティベーション方法（３）

コンソール画面にログインできていることを確認します。

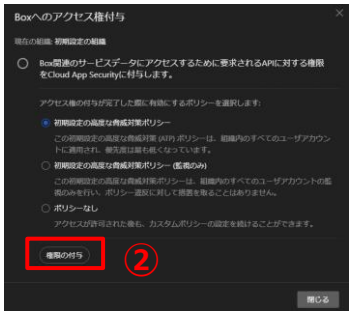
⑥「**運用管理**」の中の「**サービスアカウント**」を押下します。

API連携－Box（１）　«CAS側の設定»



①初期ログイン時は左記画面が表示されます。
表示されない場合には、管理コンソール上部の「**運用管理**」⇒「**サービスアカウント**」を選択し押下します。

「**追加**」⇒「**Box**」を押下します。



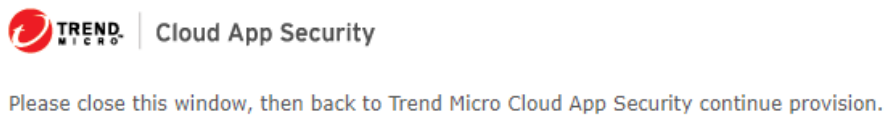
②必要に応じて有効にするポリシーの選択し、「**権限の付与**」を押下します。

画面に従い、Boxの管理者のメールアドレス及び管理者パスワードを入力します。

③右図の画面にて「**Boxへのアクセス許可**」を押下します。

API連携－Box（２） «CAS側の設定»

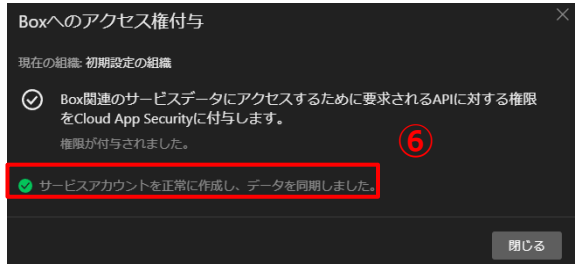
④



④左の画面「**Please close this window, then back to Trend Micro Cloud App Security continue provision.**」と表示されたら、タブを閉じます。

⑤「**ステータスの更新**」を押下し、⑥の様に表示されたら、「**閉じる**」を押下します。

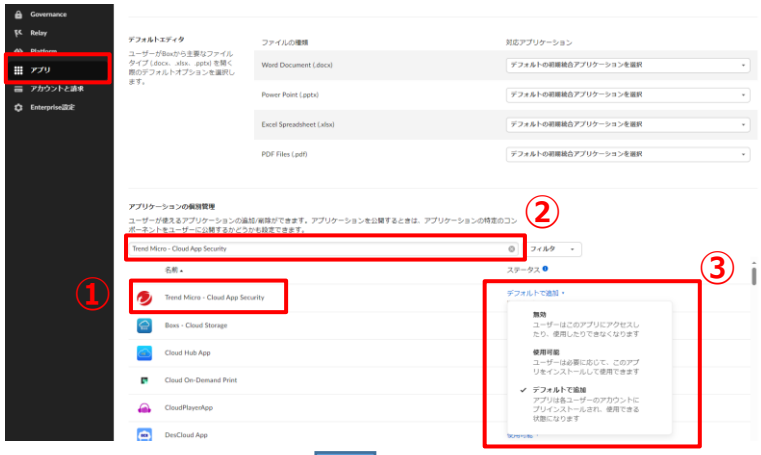
これで、Boxとの同期設定は完了です。

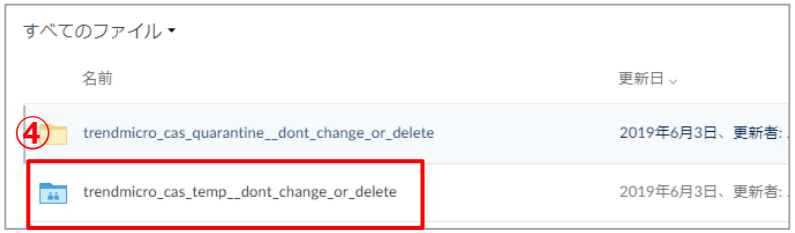


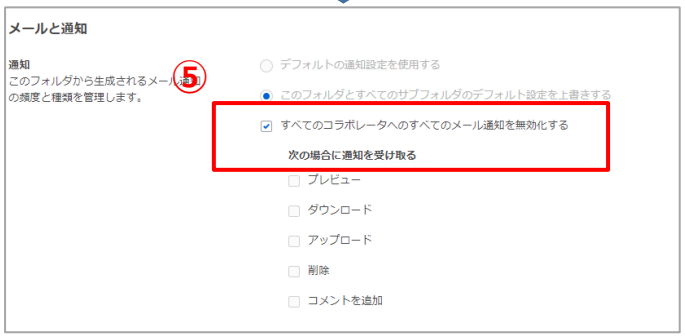
※正常に同期が行われずエラーメッセージ等が表示された場合、通信環境の問題やタイムアウトの可能性がありますので右上「×」を押下して一度連携画面を閉じてWebページをリロードし再度お試しください。(2~3回程度で成功することが多いです)

初期設定時には、Box側の情報を同期する動作が行われます。ライセンス数やファイル容量が多い場合（例：10,000ユーザ以上）には、設定が終了するまでに３～４時間程度かかる場合があります。

API連携－Box（２）　«Box側の設定»







① https://app.box.com/master/settings へアクセスします。
管理者のメールアドレス及び管理者パスワードでログイン後、
設定から「**アプリ**」タブを開きます。

②アプリタブの画面下部「**アプリケーションの個別管理**」の検索窓で、
「 **Trend Micro - Cloud App Security** 」を検索します。

③項目内プルダウンより「**デフォルトで追加**」を選択します。
その後、https://account.box.com/　にアクセスします。

- 「**Cloud App Security**」を追加している場合のみ保護され、アプリケーションを削除すると保護が解除されます。
- 「**メールと通知**」で通知を無効化していない場合、ファイルが隔離されるたびに、すべての利用者が通知を受信してしまいますのでご注意ください。

④管理者の「**すべてのファイル**」一覧に作成された
「**trendmicro_cas_temp__dont_change_or_delete**」
を右クリックし、「**設定**」を開きます。

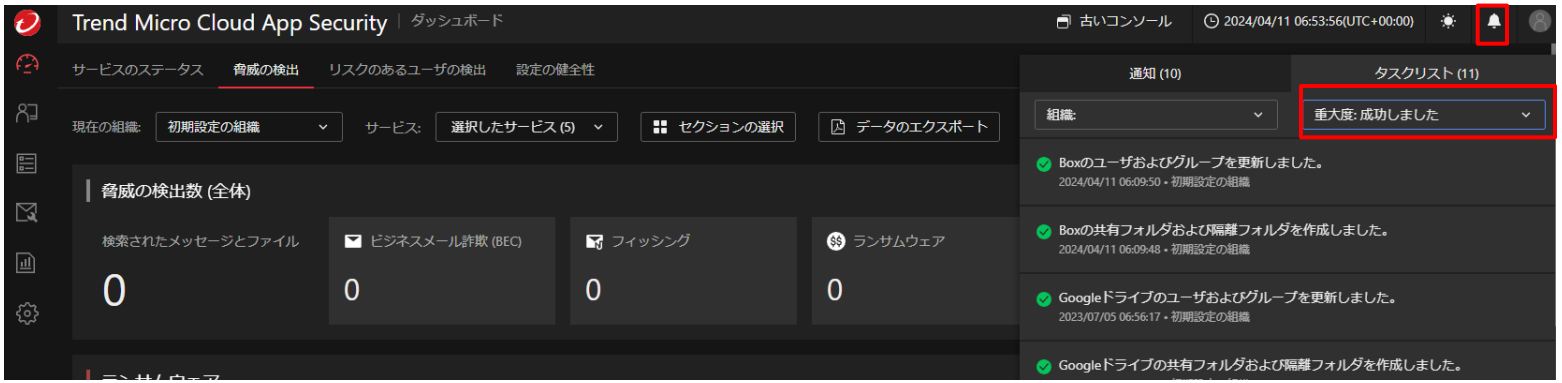
⑤「**メールと通知**」にて、以下2箇所にチェックを実施します。
・「**このフォルダとすべてのサブフォルダのデフォルト設定を上書きする**」
・「**すべてのコラボレータへのすべてのメール通知を無効化する**」
画面上部へスクロールし「**保存**」を押下します。

これで、Boxとの同期設定は完了です。

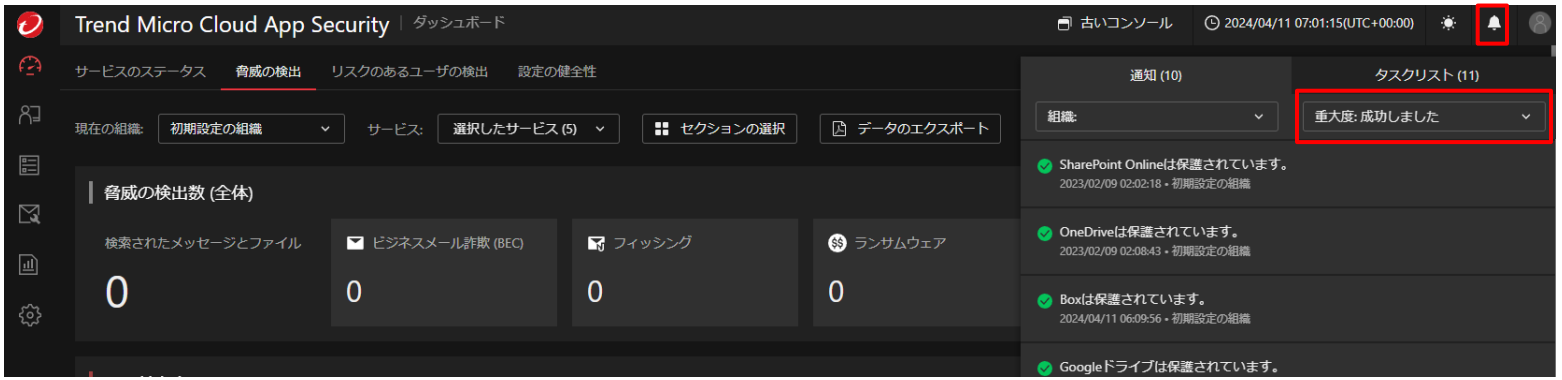
初期設定時には、Box側の情報を同期する動作が行われます。ライセンス数やファイル容量が多い場合（例：10,000ユーザ以上）には、
設定が終了するまでに３～４時間程度かかる場合があります。

API連携の完了画面

タスクリスト表示



通知表示



初期設定が完了すると、重大度のプルダウンから「**成功しました**」を選択すると上記画面のように対象サービスが表示されます。
※重大度「**保留**」ステータスに表示されている場合は、他のアプリケーションの連携は実施できないため、「**成功しました**」ステータスに表示されるまでお待ちください。

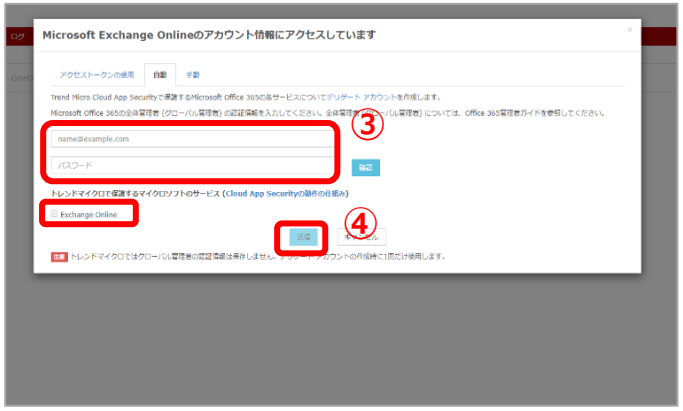
ステータスが「**保留**」のまま変わらない場合、何かしらの問題が発生している可能性があります。
一度画面を切り替えて確認します。
それでも「**保留**」の場合は時間を置いて、再度アクティベーションを実施します。

（参考）API連携　－初期ログイン時の対応（１）

※初回にコンソール画面よりログインした場合のみ、下記の画面に推移します。

①「**コンソールを開く**」を押下します。

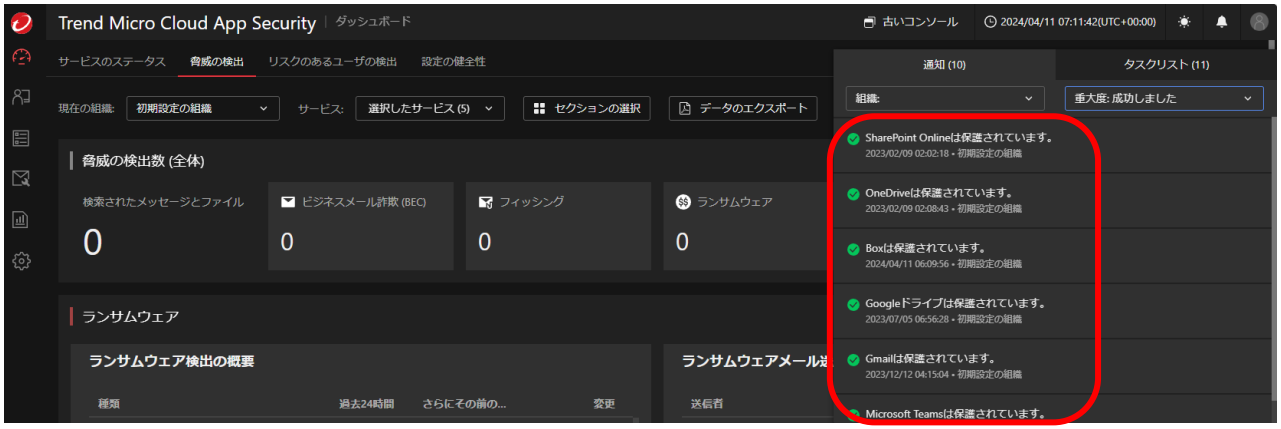
②保護するサービスを選択します。



③選択したサービスの管理者のメールアドレス及び管理者パスワードを入力します。

④「**送信**」をを押下します。

（参考）API連携　－初期ログイン時の対応（２）



「**通知**」にアクティベートしたサービスが表示されるので、内容を確認します。

商標について

- Boxは、Box, Inc.の商標または登録商標です。
- Trend Micro Cloud App Security、Cloud App Securityは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。